

毎日、安芸広域公園で遊んでいるよ

麦ちゃん(1)

飼い主：橋本 宗雄さん

“橋本家のお姫様”として、家族から愛されている麦ちゃん。ペキニーズとミニチュアダックスフンドのミックス犬です。以前も犬を飼っていた宗雄さん。また犬を飼いたいと思っていたとき、ホームセンターで目が合い、橋本家に連れて帰ってきました。

性格は明るく穏やかですが、知らない人が「おいで！おいで！」と声を掛けても、慣れるまで目を合わせてくれないマイペースな一面も。毎日朝と夕方、宗雄さんと一緒に安芸広域公園でお散歩するのが日課です。広い公園ですが、遠くには行かず、宗雄さんの姿が見える範囲で走り回って遊んでいます。見かけたら声を掛けて、仲良くなってね！



あき東支所管内より

2人でままごとしようね♪

東 律花ちゃん(3)

望羽ちゃん(4カ月)

おしゃべりが大好きな律花ちゃん。自分の意見もはっきり主張できて、“ありがとう”などお礼もきちんと言うことができます。外遊びも好きですが、歌やダンスが得意で、シンデレラなどのプリンセスDVDを見て踊っています。ままごとでは、1人で2役をこなしながらパーティーも開いています。キュウリを切ったり、卵を割ったり、料理のお手伝いもできるんだって！すごいね！

昨年9月には、妹・望羽ちゃんが産まれてお姉ちゃんになりました。妹が泣いていたらお母さんと呼びにいくなど、お世話もしています。望羽ちゃんは、よく笑い、よく飲み、よく寝てすくすくと育っています。姉妹2人で、ままごとをする日が楽しみだね♪



東洋支所管内より

安芸
地区

から こんにちは
今月の○○ 気になる人

何度も蘭に助けられた

松本 正明さん(69)

「仕事で疲れていた時、ここへ来て蘭を見ていると癒された。何度も蘭に助けられた」と話してくれた正明さん。室戸市役所で林道担当だった20代の時、上司と一緒に山で採った蘭を分けてもらったことが蘭との出会いでした。山採りもしていましたが、人が持っている蘭を気に入って購入することが多かったと言います。今では、土佐寒蘭や日向蘭など11種類800鉢を育てています。

毎年10月～11月は、西日本愛蘭クラブや蘭科植物同好会、土佐愛蘭会室戸支部など展示会の出品に毎週忙しくなります。正明さんは、花が八方に美しく付き、バランスの良い蘭を日々追求し続けます。



室戸支所管内より

命と向き合う不安と戦いながら

松本 崇人さん(31)

「仕事を楽しんでいる姿を子どもに見せたい」と語る崇人さん。家族と一緒に過ごす時間を大切にしたいと、出身地の長野県から母の実家がある奈半利町へ移住し、農業を選びました。2年間の農業研修を受け、現在独立1年目。土佐あかうしの繁殖農家をして、オクラやジャガイモ、ユズなども栽培しています。

研修中、初期投資がかかると土佐あかうしの繁殖農家を諦めかけていましたが、引退する大寺平さんから牛と設備をそのまま受け継ぐことができました。現在は6頭を飼育。「死なせないように心配の方が大きい。でも、子牛が産まれるとやっぱり嬉しい」と命と向き合う不安と戦いながらも、触れ合いを楽しんでいます。

4人の子どもの父親でもある崇人さん。子どもの休日には一緒に牛の世話をし、仕事の楽しさや苦勞を見てほしいと願っています。



奈半利支所管内より

5

地区本部

桂浜水族館や帯屋町を散策



ウミガメのえさやりを楽しむ部員

女性部は11月7日、高知市で「女性大学ときめき学園」を開き、部員や地域住民18人が参加しました。

部員らは、桂浜の「桂浜水族館」を訪れ、アシカやペンギン、カワウソなど約250種7000点の動物を見て楽しみました。ウミガメのえさやり体験では、カメのえさに食いつく力に驚いていました。その後は、新阪急高知での昼食や帯屋町を散策。部員らは、「県内の観光地に来ることはないの、ゆっくり楽しめた」と笑顔で話しました。

6

地区本部

現地検討会で栽培技術学ぶ



栽培について意見を交わす部員

園芸女性部は11月11日、奈半利町で現地検討会を開き、21人が参加しました。

部員は、一昨年に農林水産大臣賞を受賞したナス生産者の山本克彦さんのハウスを訪問。土づくりや糸吊りなどの栽培管理、ハウスの構造などについて熱心に質問しました。部員は、「とても勉強になったので、明日からの仕事に活かしたい」と知見を広げていました。渡辺り部長は「部員も、視察を通して栽培に新しい発見があったと思う」と話しました。

3

地区本部

食農教育「土佐あかうしの学習」



聴診器で牛の鼓動を聴く児童

10月31日、食農教育イベントを開き、児童23人が参加しました。土佐あかうしの出前授業や触れ合い体験を通して、食と命の大切さを学びました。

出前授業では、牛の種類やあかうしの特徴、えさやりなどについて学習。触れ合い体験では、子牛の脇腹へ聴診器を当てて鼓動を確かめました。最初は緊張していた児童たちも、体をなでるなどして、牛との触れ合いを楽しみました。BQも行い、美味しいう肉を味わいました。

4

安芸営農経済センター

スーパーで流す動画撮影に協力



ピーマン料理をPRするアグリファミリーと尾原さん夫妻

安芸地区は11月12日、都市型小型食品スーパー「まいばすけっと」の動画撮影に協力。安芸市の生産者を訪れ、25日から店内とYouTubeで流す動画を撮影しました。

動画に出演するアグリファミリーが、尾原農園とアグリリード土佐あきを訪問。生産者へのインタビューや収穫体験、試食などを通して魅力を伝えました。安芸営農経済センターの大谷順之次長は「動画で産地をより身近に感じ、高知野菜を選んでもらいたい」と期待を込めます。

Monthly Topics

できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！



来店客へナスを配り、イベントをPRするメンバー②

1

地区本部

ナス料理等提供店舗スタンプラリー
飲食店活性化とナス消費拡大へ

安芸市施設園芸品消費拡大委員会は11月17日から、「ナス料理等提供店舗スタンプラリー」を開始しました。取り組みは、「食べて！遊んで！高知家庭援プロジェクト」の一環。コロナ禍で打撃を受けた市内飲食店の活性化と、ナスのさらなる消費拡大につなげます。

スタンプラリーは、参加協力店18店舗でナスなどの地域産品を使った料理の飲食、商品購入時ごとに応募用紙へスタンプを押印。3店舗以上で5個のスタンプを集めて応募すると、抽選で100人に「安芸の野菜とオリジナル内原焼きナス皿セット」「おばちゃんがつくるナスの加工品セット」などが当たります。

同日、委員会メンバーが道の駅大山大で飲食、商品購入者へナス3本袋詰めを無料で配布。イベントをPRしました。メンバーの小松佳子さんは「多くの人に安芸市の飲食店へ足を運んでもらい、様々なナス料理を味わってほしい」と願っています。（スタンプラリーの詳細は16ページ参照）



小松さん④のハウスを巡回する研究会メンバー

2

安芸営農経済センター

地域で農福連携強化
農家やJA受け入れ先増加

安芸市農福連携研究会は、関係機関の連携を強化し、農家やJAなど障害者等の受け入れ先を増やしています。発足時の11カ所から27カ所へ増加。障害者等の雇用も16人から73人へ増加しました。

同研究会は、毎月関係機関が集まり定例会を開催。メンバーが巡回などで気がついた障害者等の職場の様子や体調、受け入れ先との相性などを細かく共有しています。

ナス農家の小松良二さんは、4年前から引きこもりの人等5人を雇用してきました。一昨年、障害者等と従業員の夏場の作業を確保するために、水耕栽培のハウスを建て規模を拡大。独立就農への意思があった男性を雇用した際は、指導農士の認定も受けました。

小松さんは「障害者等に対する勝手なイメージがあるので、現場を見る機会があればさらに受け入れ先も増えると思う。農業就労支援サポーターのことを知らない人も多いが、支援があるので人出不足の農家も雇用しやすい。」と話しました。営農企画課の小松淳課長は「現場を見る機会をつくって、理解者を増やしていきたい」と意気込みます。

栽培管理

ナス

厳寒期です！ハウス内をよく観察し、灌水・温度・肥培管理に十分注意しましょう。

整枝・光環境

二重内張を開け、一芽切り戻しを徹底し、ふところの採光性を高めます。

凍傷防止

収穫後の果実は7℃以下の低温に遭遇させないように管理します。

単果処理

ハチの飛びが悪い時や最低夜温が12℃を下回る場合は、単果処理を行います。

灌水・追肥

灌水は、1〜3日を目安に過湿にならないよう日射量の増加に応じて増やします（ハウス野菜栽培管理こよみ資料14参照）。灌水は、蒸散が始まる日の出2時間後を目安に行います。成り込んだ場合、灌水は1回の灌水を増やさずに、回数を増やします。

追肥は、一カ月当たりの施用量は10アル当たりチッソ成分で4〜6kgを目安とし、一回当たりの量は灌水間隔によって調整します。

苦土欠対策

水200ℓに1kgの硫酸マグネシウム

ムを、10日ごとに葉面散布します。

温度管理

温度管理は11・12月に準じます。花粉の稔性を確保するため、夜温は実温で12℃を確保します。また、加温ムラがないようにダクトを配置し、循環扇があれば活用します。

CO2管理

日中に大気レベル濃度400ppmを下回らないようにCO2を施用します。

病害虫防除

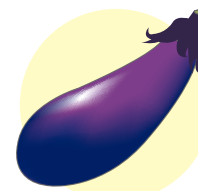
黒枯病・すすかび病・灰色かび病対策

○ハウス内を低温多湿にしない。最低夜温12℃を維持するように加温する。

○こまめな整枝・摘葉の実施で樹勢を弱らせない。また、ふところを過繁茂にしない。発病した茎や葉はハウス外へ持ち出す。

○花抜きを行い、ハウス外へ持ち出す。

○耐性菌発生防止のため、ローテーション散布をする（ハウス野菜栽培管理こよみ資料1・11・12参照）。



土づくり

カンキツ

近年、除草剤の使用などにより土壌が固く締まり根が伸びにくい傾向にあります。高品質で安定的な生産を図るには根が活性している健全な状態を維持することが最も重要です。で、しっかりと土づくりをしましょう。

有機物の施用

有機物には多くの種類があり、それぞれ効果が違います。家畜糞堆肥を使用する際は、図1の表を参考にして園地に合った資材を使用します。また、未熟なものは根を傷める可能性があるため完熟したものを使用します。多くのカンキツ園では腐植の増加等による土壌改善効果を狙って牛糞堆肥が主に施用されていますが、施用量は窒素の遅効きによる着色遅延や浮皮の発生を考慮して、10アル当たり2〜3トン程度を目安としています。また、せん定枝葉をチップ処理したスポット施用は、細根増加の効果が高まるので有効利用しましょう。

家畜糞堆肥の種類と効果(図1)

種類	窒素の無機化	肥効	土壌改善効果
牛糞	分解遅い	緩行性	高い
豚糞	中間	中間	中間
鶏糞	分解早い	即効性	低い

石灰施用

カンキツ類は葉に多くのカルシウムが含まれるので、石灰植物と言われています。土壌の酸性化が進んだ園地では、石灰資材を施用しpHを適正な値に改善する必要があります。なお、石灰資材の施用量は土壌分析の結果を基に行います。また、石灰資材の効果を高めるには散布後に土と混ぜることが重要で、特に酸性が強くなっている園地では必ず中耕して土と混ぜてください。中耕による適度な断根は新たな根の発生を促しますが、過剰な中耕は断根の悪影響が懸念されるため、2〜3年計画で園地全体の作業を終えるようにしましょう。



安芸営農経済センター
営農指導課
中芸ブロック
久保 巴哉

振興センターだより

安芸農業振興センター 0887-340138

「カイゼンの取り組み」

取り組みの背景

安芸地区のナスでは環境制御技術の導入に伴い大幅な増収を実現する農家が増加しています(図1)。

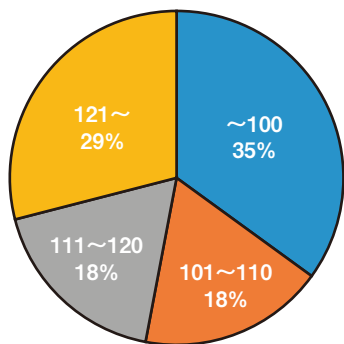


図1 環境制御技術導入後の収量比
(H28年・H30年比較(153戸)・JA調べ)

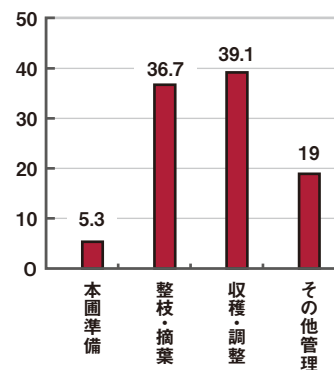


図2 総労働時間に占める作業別割合(%)
(農業振興センター・促成ナス経営モデル)

下位側枝摘除による収穫作業、整枝・摘葉作業の省力化

ナスでは果実を収穫すると同時に二芽残して切り戻す整枝方法によって9ヶ月間の長期にわたり収穫を続けま(写真1)。しかし、下位側枝の切り戻し作業は、前屈姿勢で行うため、労働負荷が大きく収穫効率も劣ります。また、下位側枝を残すことで、株元への採光性や通気性が悪くなり、赤果・青へた果等の品質低下や病害を招くなどの課題もあります。

これらの改善策として、下位側枝(2節を目安)の果実収穫後に基部から切除する整枝方法について検討します。下位側枝を切除し、その節から

新たな芽が出ないようにすることによって、収穫・整枝等の作業姿勢が改善され、収穫効率が向上することが期待されます(写真2)。また、品質向上や病害発生の抑制効果等も期待されます。

一方で、下位側枝を摘除した場合の収量・品質への影響や、収穫・整枝作業の省力化効果等について検証する必要があります。

そのため、生産者の協力を得て実証ほを設置し、その効果を検討し、次年度の取り組みに活かします。



写真1 全節1芽摘心(5月)

写真2 下位側枝摘除(5月)



改善

主枝誘引方法の改善による作業負荷の軽減

定植後の高温期に行う誘引作業は、ナスの主枝に誘引糸を結び、梁上に設置した番線に糸を固定する必要があります。



写真3 茎タッチを利用した誘引例

あるため、腰や肩、首への負担が大きくなり作業です。農家は、茎タッチを利用した誘引や主枝に糸を結ばない方法を行うなど、改善に取り組んでいます(写真3)。

これらの改善事例をビデオ撮影し、労働負荷や作業効率の視点から分析し、より負荷の少ない誘引方法について検討します。

促成ナス栽培では、かん水や天窓の自動開閉、うね成形など自動化・機械化が進み、以前に比べると省力化・軽労化が進んできました。しかし、環境制御技術の導入が進み収穫量が増加する中、生産の各工程について、省力化、軽労化の視点で改善が必要です。振興センターは生産者とともにこれらの課題解決に取り組めます。

小松 秀雄

皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

みんなのひろば

酒蔵を訪ねて、土佐酒を買いに行きたいです。

（室戸支所・66歳）

▼高知の美味しい地酒。魅力を知ると、酒蔵巡りをしたくなりますね。もちろん飲みたいから、バスツアーとかないかな〜（笑）

生まれたときからモヒカンさん。可愛いんですね。カッコいいイケメンになりそうですね。

（赤野出張所・68歳）

▼将来、バイクに乗ったカッコいい姿が想像できますよね！バイクの後ろに乗せてほしいです〜♡

男子、厨房に入るべし！素晴らしい企画です。これからの世の中、こうでなくっちゃ。お父さん、がんばって。

（あき北支所・45歳）

▼これからの時代、料理をしない男性はモテないかも？ 男性限定の料理教室は来年度も開講するので、男性陣ぜひご参加を！

嫁は、今回の答えをドヤ顔で「わいんぐすら」と書いていました。

（吉良川支所・33歳）

▼奥様、可愛すぎ！ キュン♡

「シヨウガの炊き込みご飯」はハウスの新シヨウガをもらった時に炊きます。シヨウガはそのまま炊くと辛すぎるので、一度水で流しています。

（赤野出張所・67歳）

▼一度水で流すといいんですね！ 今度やってみます。

「シヨウガの炊き込みご飯」を早速作ってみました。美味しかったです。私は手足が冷たいので、日頃からシヨウガを使ったおかずを作っています。レバトリが増えて嬉しいですね。

（田野支所・63歳）

▼冬は、風邪予防にもシヨウガを取り入れたいですね。シヨウガは汁物や炒め物など、いろいろな料理のアクセントになるので重宝しています。

コロナ渦で、旅行や街へのシヨッピングをだいぶ控えています。活動を紙面で読み、参加したつもりになっています。

（室戸支所・58歳）

▼自由に行動できるようになったら、ぜひ「こうぐり」片手にお出かけくださいな〜

広報のつぶやき

ナス料理スタンプラリー、みなさんスタンプ集めていただけましたか？ナス料理提供店舗を並べると、改めてナスが万能野菜だったことに気づかれます。カレーやピザ、パスタだけでなく、プリンやアイスにも！どこの店舗に行こうか迷いました。

今回、10名様のみに当たる「内原野焼きナス皿」は完全オリジナル！この企画のために、内原野陶芸館の職人さんに制作いただきました。リクエストは「ナスの形で！」。先日、試作品が上がってきましたが、色も形もすごく可愛かったです！私も欲しいなあ…でも、私には当たらないよなあ（泣）

（竹村）

INFORMATION

お知らせ

ナス料理等提供店舗スタンプラリー まもなく終了！1月31日(日)まで！

安芸市内の18店舗でナスなどの地域産品を使った料理の飲食、商品購入時ごとに応募用紙へスタンプを押印します。3店舗以上で5個のスタンプを集めて応募すると、抽選で100人に素敵なプレゼントが当たるチャンス！ぜひご参加ください！

参加協力店

道の駅大山、廓中ふるさと館、安芸しらす食堂、スープカレーシェヌー、cagom、カフェレストアップル、イタリア食堂PIENO、白牡丹、ホテルTAMAI、キッチンココ心、コーヒーショップニルス、まる弥カフェ、ぽっぽベーカリー、安芸グループふあーむ、こまどり温泉、伊太利亜食堂 Linda Linda、より道千里、peu a peu（プアブ）

プレゼント内容

「安芸のナスとオリジナル内原野焼きナス皿セット」「手作り味噌と吟の夢（酒）と安芸のナスのセット」「お食事券」などなど

応募方法

店舗にある応募はがきに必要事項を記入し、店舗の応募BOXへ入れてください。切手貼付のうえ、郵送でも受け付けます（令和3年2月5日必着）。

問い合わせ

安芸市施設園芸品消費拡大委員会（事務局：安芸地区本部 企画組員課）0887-34-1515

税務相談日

令和3年2月10日（水）・3月17日（水）

会場 あき支所3階

時間 10：00～16：00

問い合わせ 安芸地区本部 企画組員課 0887-34-1515